

1 以下の各問に答えよ。解答は解答用マークシートに記入せよ(記入方法については、表紙の「解答用マークシートの記入方法」に従うこと)。

(1) k を定数とする。双曲線 $x^2 - y^2 = 1$ と放物線 $y = x^2 + k$ がちょうど2個の共有点をもつとき、 $k = \frac{\boxed{\text{アイ}}}{\boxed{\text{ウ}}}$ である。

(2) 3つのベクトル $\vec{a} = (4, 7)$, $\vec{b} = (-1, -3)$, $\vec{c} = (-9, 8)$ について、 $|\vec{a} - \vec{x}|^2 + |\vec{b} - \vec{x}|^2 + |\vec{c} - \vec{x}|^2$ の値を最小にするベクトル \vec{x} の成分は、 $(\boxed{\text{エオ}}, \boxed{\text{カ}})$ である。

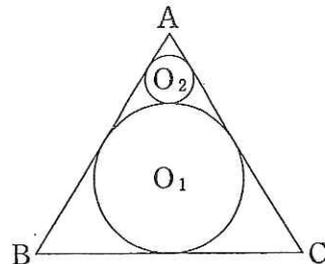
(3) $x > 0$, $y > 0$ とする。 $\frac{2y}{5x} + \frac{x}{2y}$ が最小値をとるとき、 $\frac{5x}{2x - \sqrt{5}y} = \boxed{\text{キクケ}}$ である。

(4) k を0でない定数として、 $f(x) = \frac{3kx + 2}{kx - 1}$ とする。 $f(x)$ の逆関数 $f^{-1}(x)$ について、 $f^{-1}(-x) = -f(x)$ が成り立つとき、 $k = \frac{\boxed{\text{コサ}}}{\boxed{\text{シ}}}$ である。

(5) 方程式 $x^3 + 2\log_2 x = 4^{27}$ の解のうち、最も小さい解は $x = \frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セソ}}}$ である。

(6) 定積分 $\int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{\cos x}{\sin x + \cos x} dx$ の値は $\frac{\boxed{\text{タ}}}{\boxed{\text{チ}}}$ π である。

(7) 右図のように、1辺の長さが1の正三角形ABCに内接する円を O_1 とする。また、辺AB、辺ACおよび円 O_1 に接する円を O_2 とし、以下同様に辺AB、辺ACおよび円 O_{n-1} に接する円を O_n とする($n=3, 4, 5, \dots$)。円 O_1, O_2, O_3, \dots の面積をそれぞれ S_1, S_2, S_3, \dots とすると、

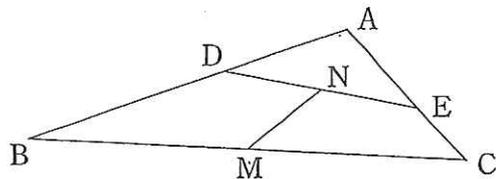


$\sum_{n=1}^{\infty} S_n = \frac{\boxed{\text{ツ}}}{\boxed{\text{テト}}}$ π となる。

(8) $0 \leq x \leq 1$ において、不等式 $0 \leq x^2 + 2(a-2)x + a \leq 2$ が成り立つよ

うな定数 a の値の範囲は $\boxed{\text{ナ}} \leq a \leq \frac{\boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ヌ}}}$ である。

(9) $\angle A = \frac{2}{3}\pi$ である $\triangle ABC$ の辺AB、AC上にそれぞれ点D、Eがある。辺BCの中点をMとし、線分DEの中点をNとする。BD=7、CE=3のとき、



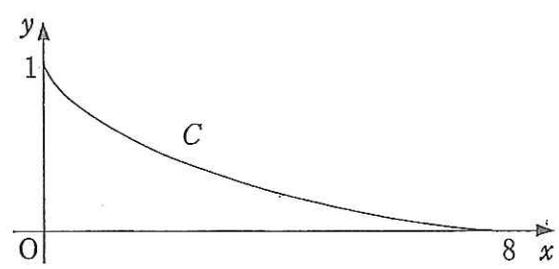
$MN = \frac{\sqrt{\boxed{\text{ネノ}}}}{\boxed{\text{ハ}}}$ である。

(10) a, b, c, d を、1から9までの互いに異なる4個の整数とする。このと

き、逆行列をもつ行列 $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ は $\boxed{\text{ヒフヘホ}}$ 通りある。

2 以下の問に答えよ。解答は解答用マークシートに記入せよ(記入方法については、表紙の「解答用マークシートの記入方法」に従うこと)。

下図のような曲線 $x^{\frac{2}{3}} + 4y^{\frac{2}{3}} = 4$ ($x \geq 0, y \geq 0$) を C とする。以下の(1)~(4)に答えよ。



(1) $I_n = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n \theta d\theta$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) とおく。このとき、 I_2 の値は $\frac{\text{ア}}{\text{イ}} \pi$ である。また、 I_6 と I_4 の間には、関係式 $I_6 = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}} I_4$ が成り立つ。

(2) 曲線 C および x 軸、 y 軸に囲まれた図形の面積は $\frac{\text{オ}}{\text{カ}} \pi$ である。

(3) 曲線 C の方程式について、 y の導関数を $\frac{dy}{dx}$ とする。 $x > 0, y > 0$ のとき、 $\left(\frac{x}{y}\right)^{\frac{1}{3}} \frac{dy}{dx}$ は一定の値 $\frac{\text{キク}}{\text{ケ}}$ をとる。

(4) 曲線 C 上の点で、第1象限内にある点を P とする。また、点 P における接線と x 軸、 y 軸との交点をそれぞれ A, B とする。原点を O で表したとき、三角形 OAB の面積は点 A の x 座標が $\text{コ} \sqrt{\text{サ}}$ のとき、最大値 シ をとる。